

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査 神奈川県立中等教育学校の結果

令和3年度に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、県立中等教育学校前期課程3年生の生徒の学習及び生活の概況をお知らせします。

今回の分析結果を踏まえ、今後は、各学校と協働しながら学力向上と教育課程や学習指導の充実・改善を図っていきます。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### (2) 調査内容

##### ① 教科に関する調査（国語、数学）

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### (3) 調査結果の公表

県立中等教育学校全体の調査結果を公表する。序列化や過度な競争につながらないようにするため、学校ごとの結果は公表しない。

### 2 教科に関する調査の分析

【平均正答率】

(単位：%)

	国語	数学
県立中等教育学校	85.8	82.3
神奈川県（公立）	65	58
全 国	64.6	57.2

(文部科学省から提供されたデータを基に作成)

## (1) 国語に関する調査結果

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域等について全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

### 《他の問題に比べて平均正答率が低かった問題》

- ◆ ② 一「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」
- ◆ ③ 四「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ」

### 《改善に向けて》

- ② 一 について

「書くこと」における推敲する力を高められるよう、自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのような働きを持つかを確かめるよう指導する。また、説明や具体例、描写などに着目して、自分の書いた文章が自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかについて見直し、誤解のない表現やより効果的な表現を用いて書けるように指導していく。

- ③ 四について

「読むこと」における自分の考えを形成する力を高められるよう、文学的な文章の「精査・解釈」や「構造と内容の把握」の学習で理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠となることを知ったりする学習活動を通して、自分が文章をどのように捉えたのかを改めて振り返るように指導していく。

## (2) 数学に関する調査結果

「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の領域について全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

### 《他の問題に比べて平均正答率が低かった問題》

- ◆ ⑦ (2)「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」
- ◆ ⑧ (3)「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」

### 《改善に向けて》

- 判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために、データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導していく。また、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って批判的に考察し判断した理由を説明する活動を一層充実させるように指導していく。

### 3 質問紙に関する調査の分析

#### 《良好であった内容》

- ◇ 「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の生徒と意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」という質問に「ほぼ毎日」「週 1 回以上」と回答した割合の合計は、全国の平均と比べて高かった。
- ◇ 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」という質問に「当てはまる」と回答した割合が、全国の平均と比べて高かった。

#### 《課題があった内容》

- ◆ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に「当てはまる」と回答した割合が、全国に比べて低かった。

#### 《改善に向けて》

- 国語で学習したことが将来役に立つと思う生徒の割合は低いですが、学習の取り組みに対する質問の回答は良好である。国語の学習を通じて育成された知識・技能が社会生活における様々な場面で、主体的に活用でき、生きて働く知識及び技能として実感できるように指導していく。また、社会生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うように指導していく。